

日本数学教育学会 第9回春期研究大会開催のご案内 (第2次)

日本数学教育学会会長 清水 美憲
第9回春期研究大会実行委員長 清水 宏幸

日本数学教育学会では、平成25年度から、学会の公益法人化に伴う事業拡充の一環として、数学教育の基礎的・科学的研究の一層の推進のために、春期研究大会を開催しています。第9回春期研究大会は、下記の要領により、山梨大学において開催することになりました。充実した研究大会となりますよう、皆様のご参加をお待ちしております。

記

1. 日 程 2021年6月6日(日)
2. 会 場 山梨大学 甲府キャンパス 〒400-8510 山梨県甲府市武田 4-4-37
3. 大会参加費

	事前申込み		当日申込み	
	会員	非会員	会員	非会員
一般	3,000円	3,500円	3,500円	4,000円
学生	2,500円	3,000円	3,000円	3,500円

*事前申し込みは、所定のサイト(URL: <https://www.sme.or.jp/>)で受け付けます。懇親会と合わせて、4月以降にご案内します。

4. 研究大会プログラム

9:00~9:30	受付
9:30~11:30	創成型課題研究・学会指定課題研究・ラウンドテーブル
11:40~12:40	開会行事, 学会総会
12:40~14:20	昼食, ポスター発表
14:30~16:30	創成型課題研究・学会指定課題研究・ラウンドテーブル
16:40~18:30	懇親会

*受付は、9:00~14:30の間、随時対応します。

春期研究大会では、創成型課題研究、学会指定課題研究、ラウンドテーブルという3つのタイプのセッションを予定しています。これらは、オーガナイザーによる企画・運営を基本として研究発表、討議を行うものとします。

◎ 創成型課題研究

創成型課題研究は、昨今の数学教育研究における複合化、総合化した研究課題の創出による新分野の開拓の必要性に呼応するために、各課題についてのオーガナイザーによる企画・運営を基本として、研究発表及び参加者による討議を行います。各課題は、4~6名程度の研究グループによる自主企画の研究テーマに関する課題とし、公募の結果、次の6課題が採択されました。

	テーマ	オーガナイザー
I	数学の授業レキシコンの構成とその比較文化的研究	舟橋友香 (奈良教育大学)
II	中1における図形指導の改善	山崎浩二 (日本大学)
III	比例的推論の基礎を形成する授業に向けた学習軌道の考察：小学校下学年を中心に	日野圭子 (宇都宮大学)
IV	数学教育現代化における教育課程の再構成原理とその過程	蒔苗直道 (筑波大学)
V	平面図形と空間図形の連動を視点とした小中一貫の図形カリキュラムの開発研究 (2)	岡崎正和 (岡山大学)
VI	数学的モデリングのサイクルと統計的探究プロセスにもとづく小学校算数科授業研究	杉元新一郎 (静岡大学)

◎ 学会指定課題研究

学会指定課題研究は、数学教育における今日的な研究テーマを設定し、学会との連携のもとで、オーガナイザーの主導により研究課題に取り組みます。

	テーマ	オーガナイザー
I	数学教育の内容・領域に固有な非認知能力に対する教師による評価	宮崎樹夫 (信州大学)
II	移行期の学校数学カリキュラムにおけるアラインメントの検証の方法論	清水美憲 (筑波大学)

◎ ラウンドテーブル

今大会より、オープンなディスカッションに重点を置いた、ラウンドテーブルを用意することとしました。ラウンドテーブルは、研究グループが設定した課題について、登壇者の話題提供をもとにディスカッションを中心に行います。

	テーマ	オーガナイザー
I	数学の生涯学習文化の探究	渡辺 信 (生涯学習数学研究所)

5. ポスター発表の申し込み

数学教育に関するポスター発表を公募します。希望される場合には、別途指定する申込様式によって 2021年2月28日(日) [正午] (時間厳守) までに、所定のサイト (URL: <https://www.sme.or.jp/>) から応募して下さい。なお、原稿の提出期限は 2021年3月31日(水) [正午] (時間厳守) です。論究部で審査の上、ポスター発表の採択の可否をお知らせします。

6. 第9回春期研究大会 実行委員会 事務局

〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37 山梨大学教育学部
清水宏幸 (実行委員長) 成田雅博 早川健 (事務局長)